

### 3. 多文化共生の認知度と施策への関心について

#### (1) 「多文化共生」の認知度

◇ 「言葉も意味も知っている」が3割半ば

問8 宇都宮市では、外国人住民の増加や定住化を踏まえ、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、地域社会の構成員として共に生き、共に支え合う多文化共生の社会づくりを進めています。

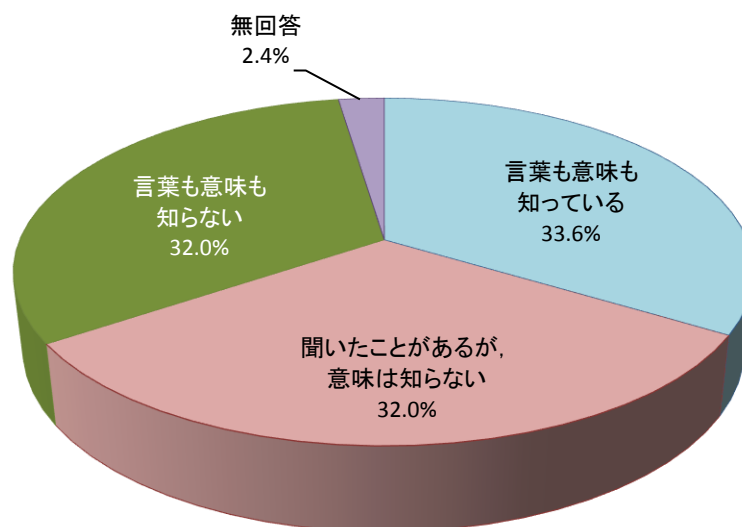
あなたは、「多文化共生」という言葉を知っていますか。

(○は1つ)

n=378

1	言葉も意味も知っている	33.6%
2	聞いたことがあるが、意味は知らない	32.0%
3	言葉も意味も知らない	32.0%
	(無回答)	2.4%

<図IV-3-1>全体



n=178

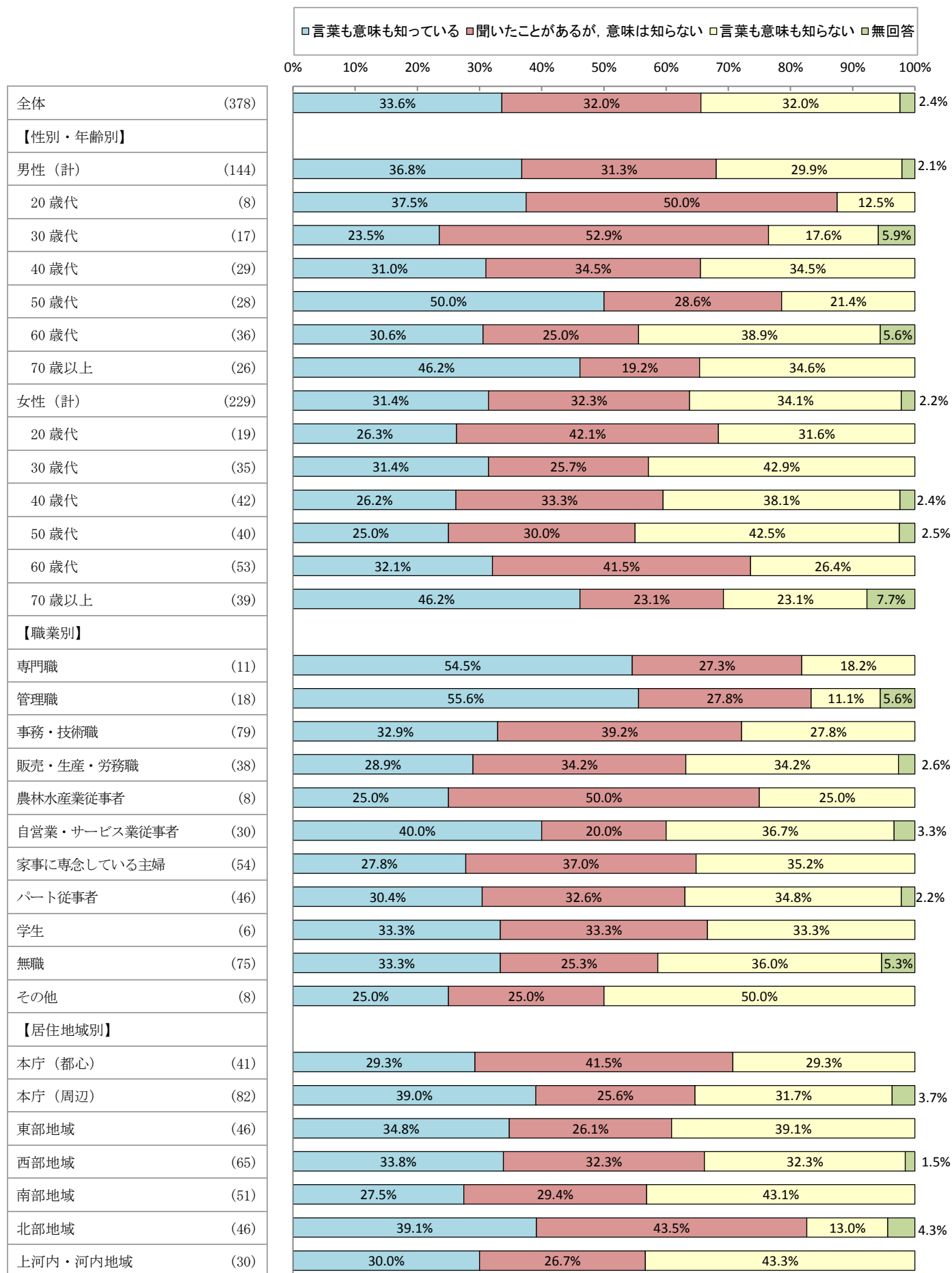
「多文化共生」の認知度については、「言葉も意味も知っている」が33.6%、「聞いたことがあるが、意味は知らない」が32.0%、「言葉も意味も知らない」が32.0%であった。(図IV-3-1)

性別・年齢別でみると、「言葉も意味も知っている」は<男性/50歳代>が50.0%で最も高く、次いで<男性・女性/70歳以上>が46.2%と続いている。「聞いたことがあるが、意味は知らない」は<男性/30歳代>が52.9%で最も高く、「言葉も意味も知らない」は<女性/30歳代>が42.9%で最も高かった。(図IV-3-2)

職業別でみると、「言葉も意味も知っている」は<管理職>が55.6%で最も高く、次いで<専門職>が54.5%と続いている。「聞いたことがあるが、意味は知らない」は<農林水産業従事者>が50.0%で最も高かった。(図IV-3-2)

居住地域別でみると、「言葉も意味も知っている」は<北部地域>が39.1%、「聞いたことがあるが、意味は知らない」も<北部地域>が43.5%で最も高かった。「言葉も意味も知らない」は<上河内・河内地域>が43.3%で最も高かった。(図IV-3-2)

<図IV-3-2>性別・年齢別/職業別/居住地域別

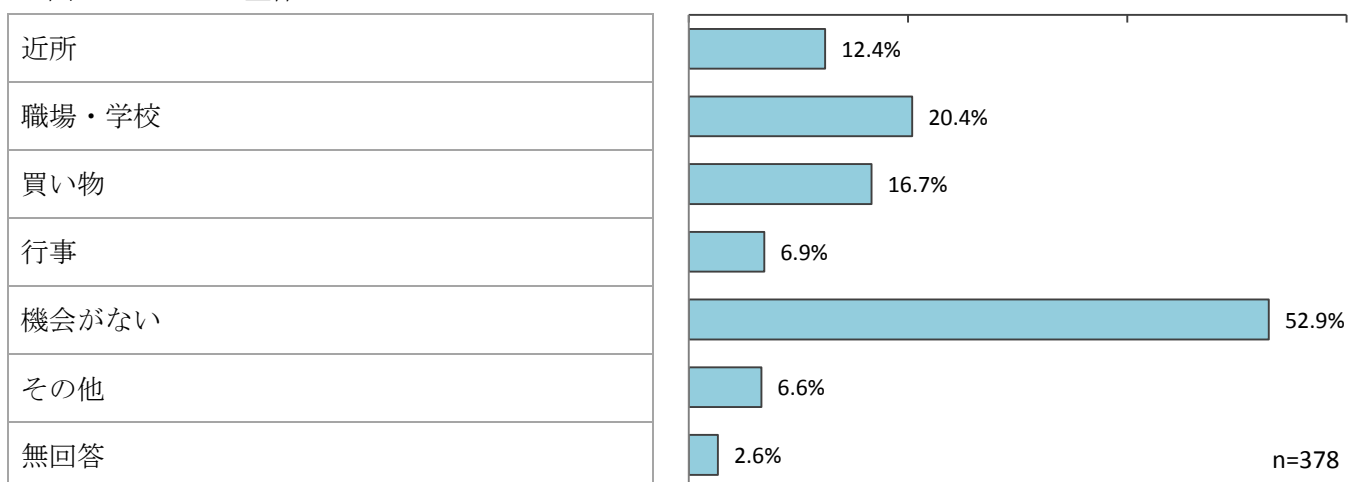


## (2) 外国人住民と接する機会

### ◇ 「機会がない」が5割強

問9 日ごろ、外国人住民と接する機会はどんなときですか。		(〇はいくつでも)
		n=378
1	近所	12.4%
2	職場・学校	20.4%
3	買い物	16.7%
4	行事	6.9%
5	機会がない	52.9%
6	その他	6.6%
	(無回答)	2.6%

<図IV-3-3>全体



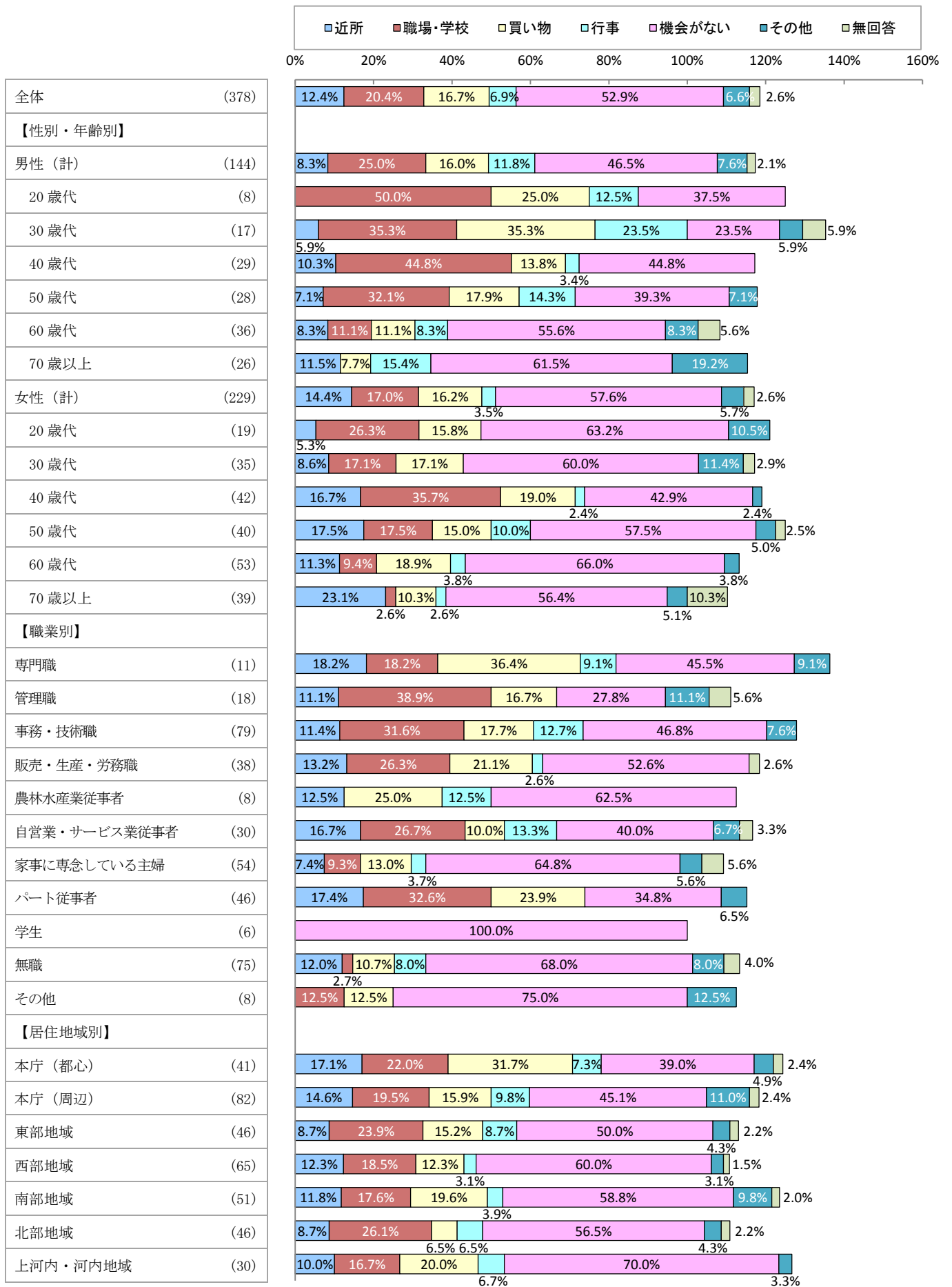
外国人住民と接する機会については、「機会がない」が52.9%で最も高く、次いで「職場・学校」が20.4%であった。(図IV-3-3)

性別・年齢別でみると、「機会がない」は<女性/60歳代>が66.0%で最も高く、次いで<女性/20歳代>が63.2%であった。「職場・学校」は<男性/20歳代>が50.0%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が44.8%であった。(図IV-3-4)

職業別でみると、「機会がない」は<学生>が100.0%で最も高かった。「職場・学校」は<管理職>が38.9%で最も高く、次いで<パート従事者>が32.6%あった。(図IV-3-4)

居住地域別でみるとは「機会がない」は<上河内・河内地域>が70.0%で最も高く、次いで<西部地域>が60.0%であった。「職場・学校」は<北部地域>が26.1%で最も高かった。(図IV-3-4)

<図IV-3-4>性別・年齢別/職業別/居住地域別

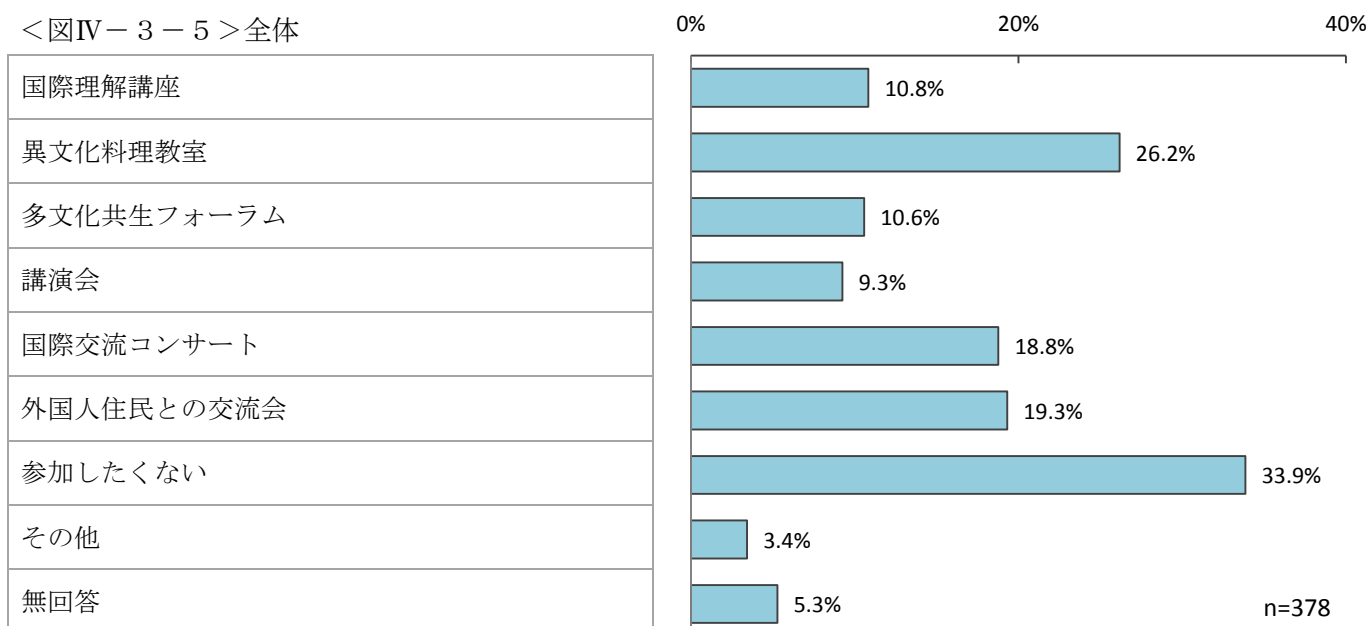


### (3) 参加したい多文化共生事業

#### ◇ 「参加したくない」が3割半ば

問10	外国人住民と日本人住民の相互理解や交流の機会創出のため、本市では、外国人住民を講師に母国の文化を紹介する「国際理解講座」や外国人住民をパネリストに生活環境の違いなどを話し合う「多文化共生フォーラム」などを開催しています。どのような事業に参加したいと思いますか。 (〇はいくつでも)	n=378
1	国際理解講座	10.8%
2	異文化料理教室	26.2%
3	多文化共生フォーラム	10.6%
4	講演会	9.3%
5	国際交流コンサート	18.8%
6	外国人住民との交流会	19.3%
7	参加したくない	33.9%
8	その他	3.4%
	(無回答)	5.3%

<図IV-3-5>全体



どのような事業に参加したいかについては、「参加したくない」が33.9%で最も高く、次いで「異文化料理教室」が26.2%であった。(図IV-3-5)

性別・年齢別でみると、「参加したくない」は<男性/40歳代>が48.3%で最も高く、次いで<男性/60歳代>が44.4%であった。「異文化料理教室」は<男性/20歳代>が50.0%で最も高く、次いで<女性/50歳代>が45.0%であった。(図IV-3-6)

職業別でみると、「参加したくない」は、その他を除いて<無職>が44.0%で最も高く、「異文化料理教室」は<家事に専念している主婦>が35.2%で最も高かった。(図IV-3-6)

居住地域別でみると、「参加したくない」はすべての地域が3割を超えて同様の傾向であった。「異文化料理教室」は<北部地域>が34.8%で最も高かった。(図IV-3-6)

<図IV-3-6>性別・年齢別/職業別/居住地域別

